

白雪

美月

になつてしまった

俺の受難性活



白雪

美月

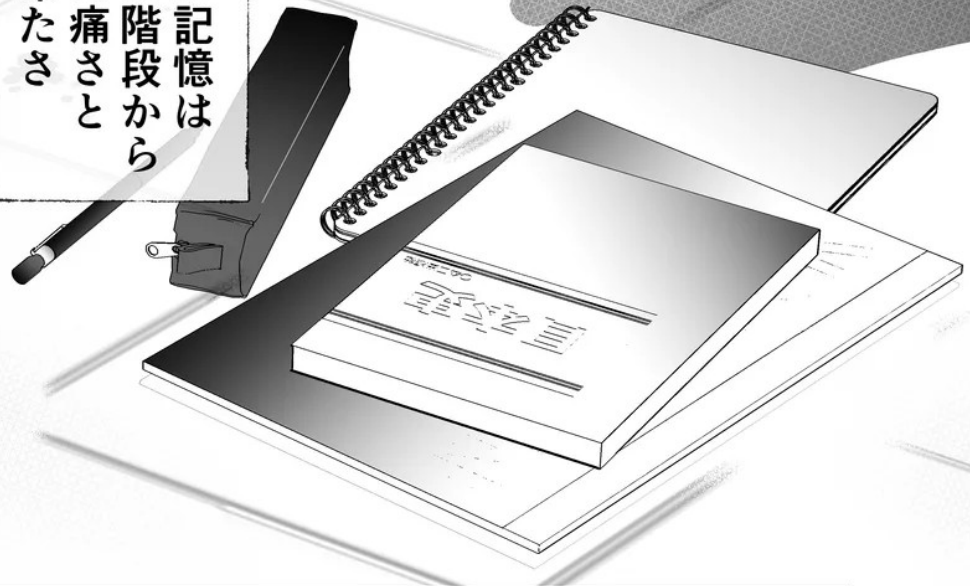
になってしまった

俺の受難性活

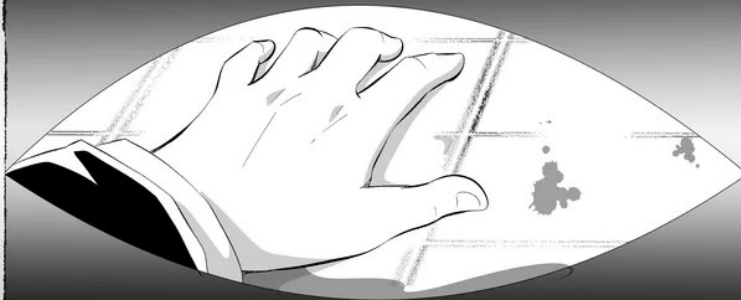


最後の記憶は
学校の階段から
落ちた痛さと
床の冷たさ

そして彼女も
いたことがない
己の童貞人生を
振り返りながら



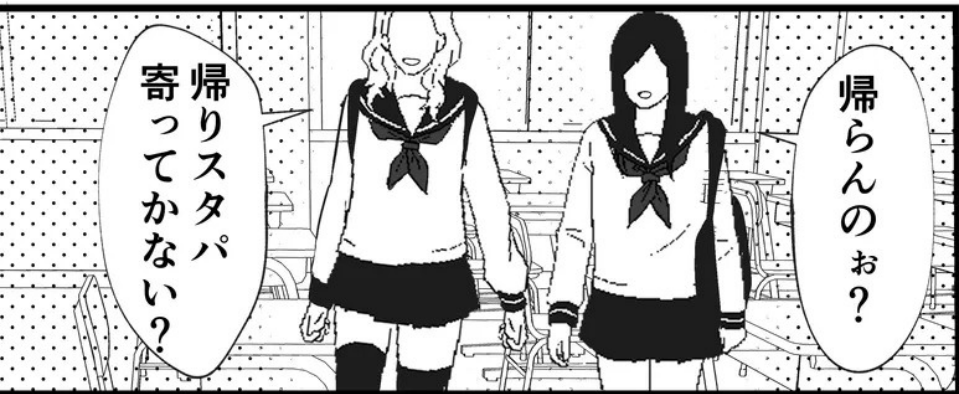
次はもっと
充実した人生を
送りたいもんだ…



なんて——
自嘲気味に思った
そこまでの記憶

そこから——
…





帰りスタパ
寄ってかない？

帰らんのお？



あれ美月みつき〜



あー…ごめん
その…ワタシ
ちよつと先生に
呼ばれてるから〜

ええー美月
またハヤ先に
コキ使われ
てんのー？

かわいそー

なぜか
美少女転生
してしまった
俺です

ごっごめんね



目が覚めたら
別人でしかも
美少女とか

アニメや漫画
かよって話だが



かわっ

理由は俺にも
サツパリ
わからない

白雪さんだー

ほらま



学生証

下記の者は本校の生徒であることを証明する。

学籍番号：30114687

氏名：白雪 美月

生年月日： 年 月 日



県立大学付属高校 学長
山田県千士市5町3-12-6



現実として
俺は今

『白雪 美月』
という人間に
なってしまうている



失礼しまーす

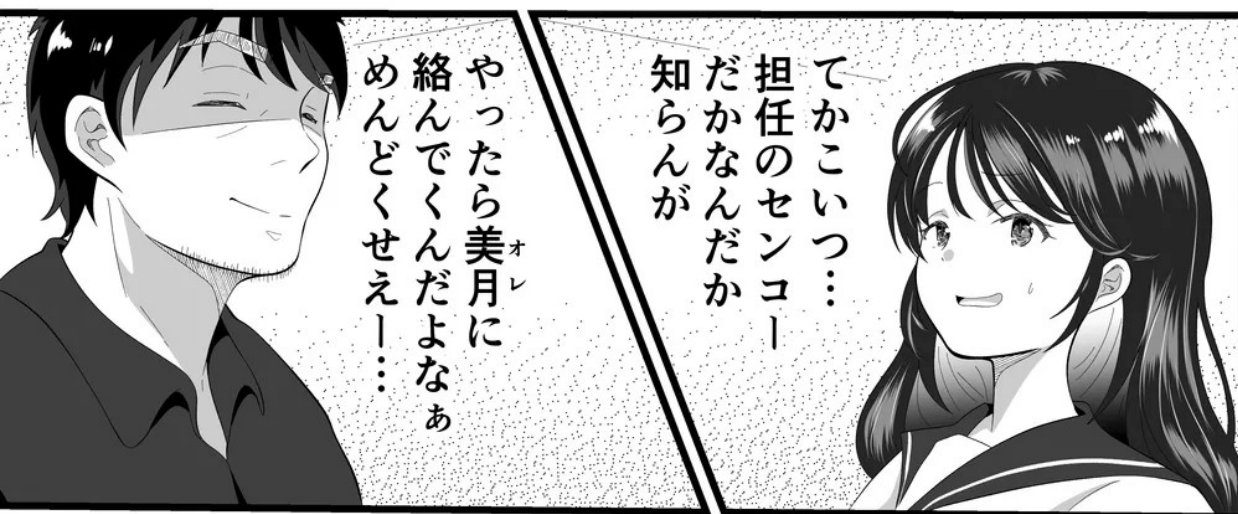
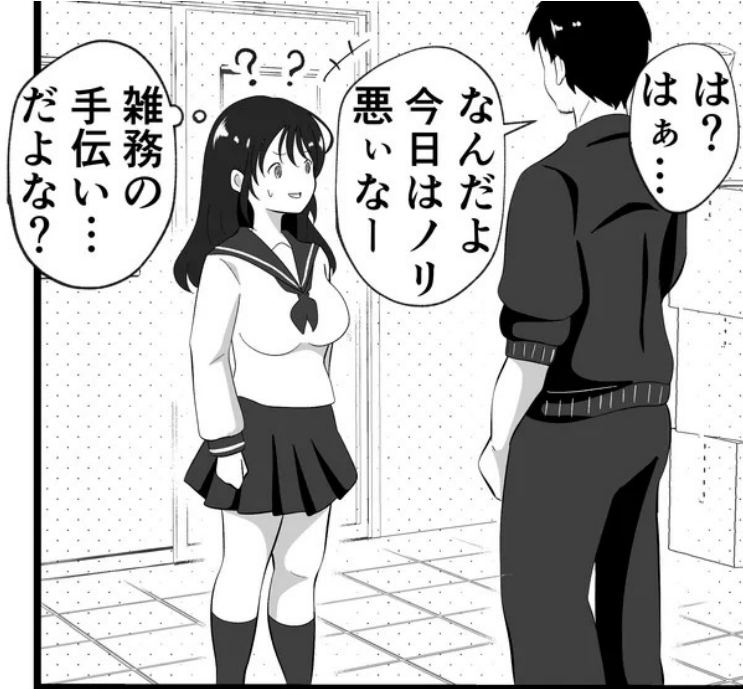
つうてもなあ
まだ一週間も
経ってねえし…
なにをどうしたら

資料整理の
手伝いに
きましたー



社会準備室

ほんっと
笑えない…





は!?なにになに!?

ぬ、



ええええっ!?!!

ちゅ
う



なにがどう
なって...!?

美月また
ハヤ先にコキ
使われてー



まさか...
もしかして
この二人って



金曜日恒例の
お楽しみタイム

なんだ今日は
ノリ悪いなー

いつものあれ
してやるから

え?まさか...



付き合ってる!?

なんだお前
またキスだけで
感じちゃったか

しゅ
ぽ

ぽ



しっ…白雪
どーした？



ぶっ

ってムリムリ
無理っ——！！！！



今この
大変なときに

何が悲しくて
俺はこんな
オッサンと

ぐう



付き合える
かつつーの!!!

お前…

…



そうか…
わあ…



先生ごめんだけど

キッ

もし付き合ってるなら
別れて欲しいです!!

あん？



あれか?
最近忙しくて
全然構って
やれなかったから
スネてんだろ?

は?

今日はお前が
満足するまで
やってやるから
な?だから機嫌
直せって

まったく:
お前はスネると
すぐ別れるとか
言うんだから

ま...マジか:
この白雪美月
という女

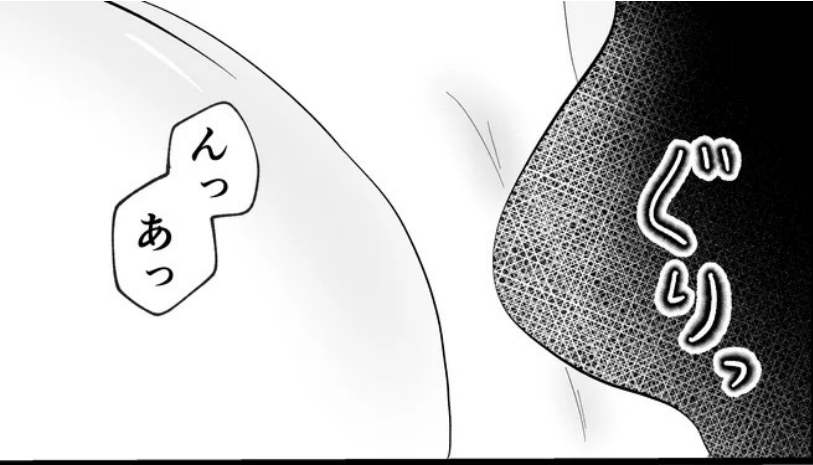


別れ話を
まったく本気に
してくれねえ

鍵はかけたけど
なるべく声は
抑えろよ?

かまってちゃん
だったかあああ

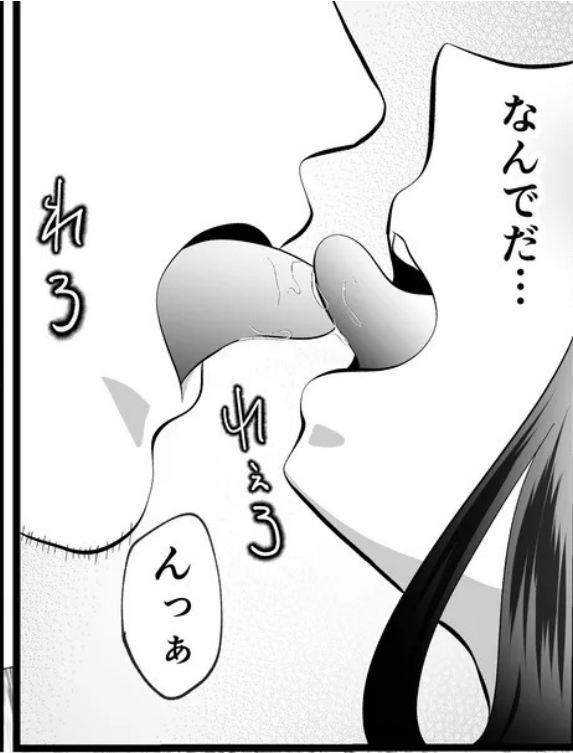






男となんて
気持ち悪い
はずなのに…

ぢゅる、



なんでだ…

れろ

れろ

んっあ



うわっ…
なんだこれ

ぢゅる

ぢゅる

ふあ



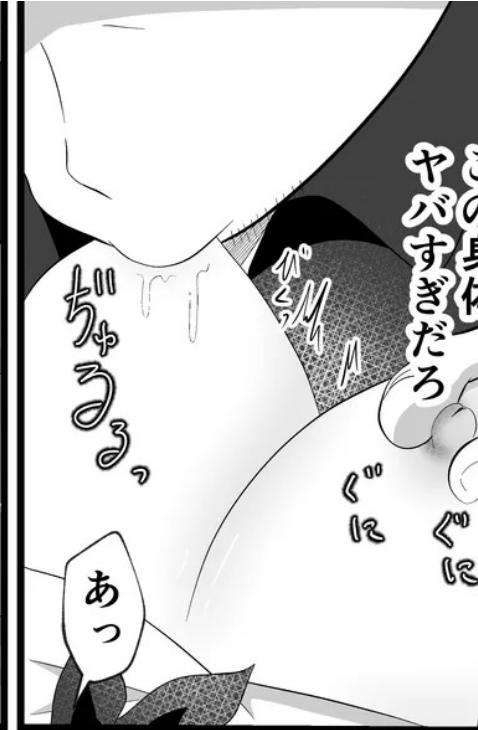
身体が勝手に
反応しちまう

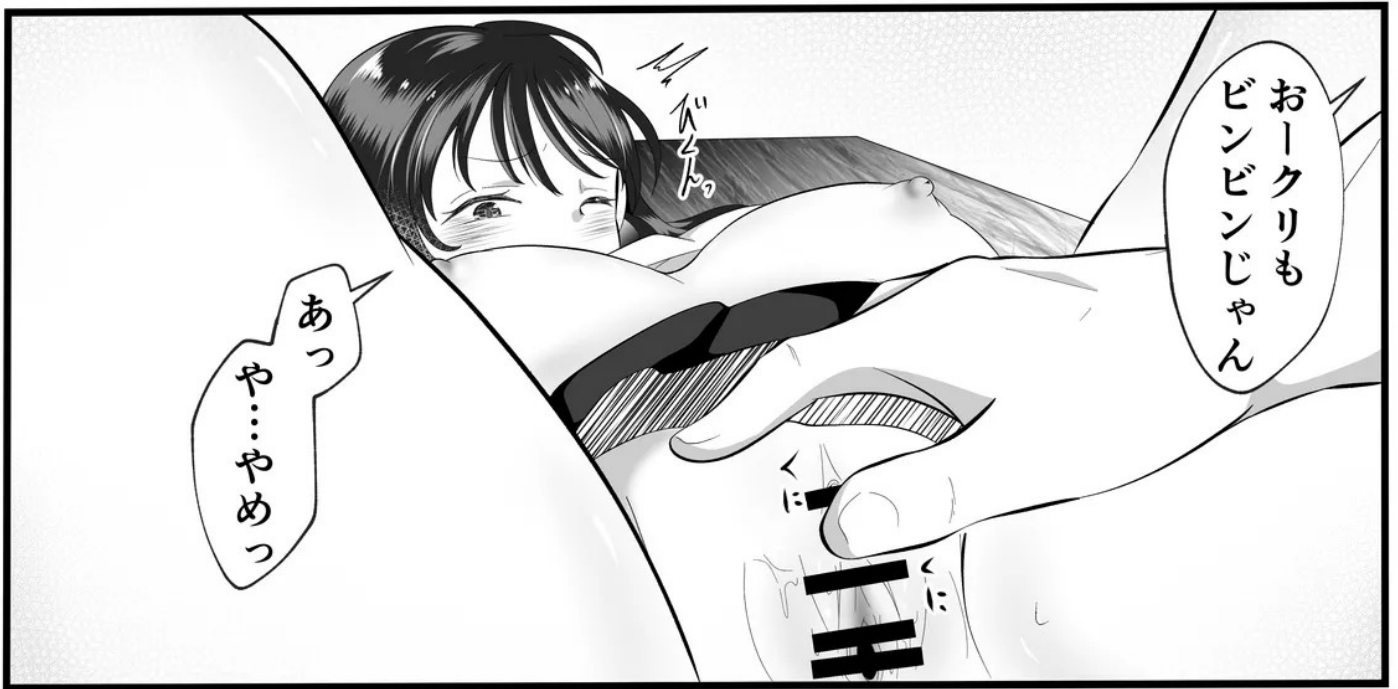


おー

ちよっとは
機嫌直った
かー？

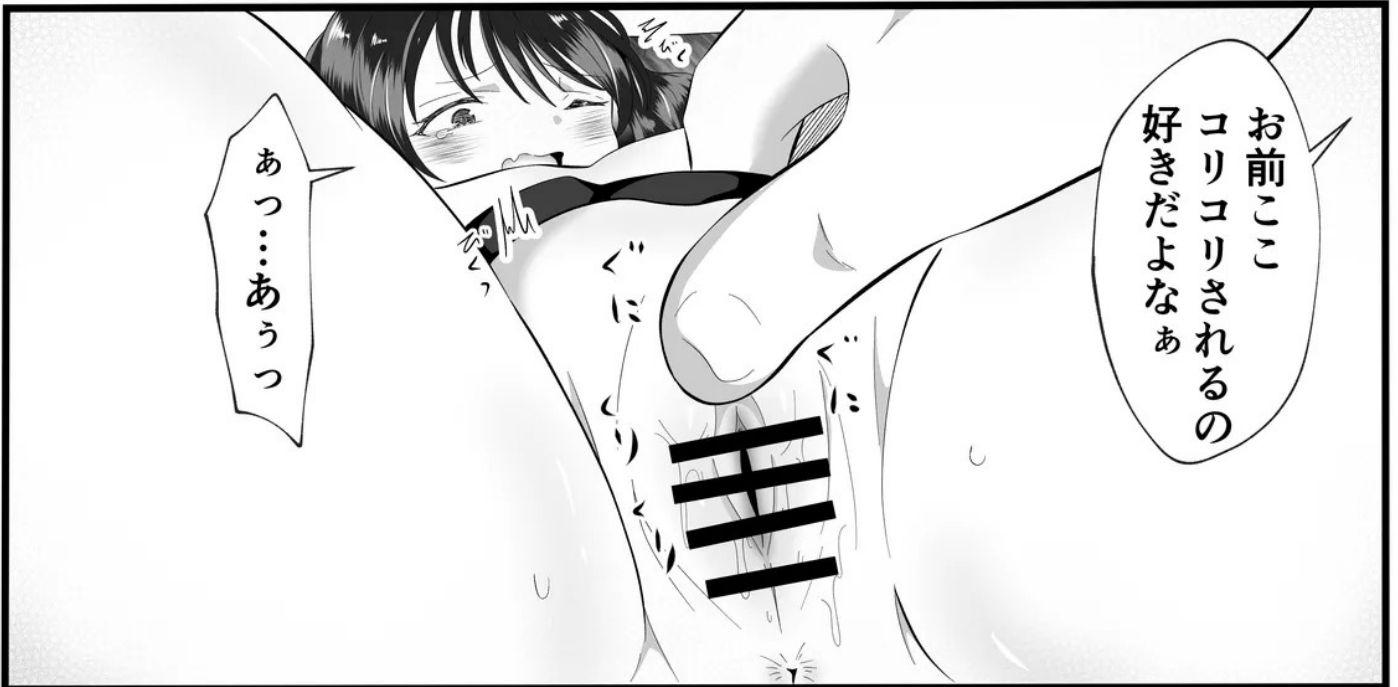
ほんと
エロ可愛いなあ





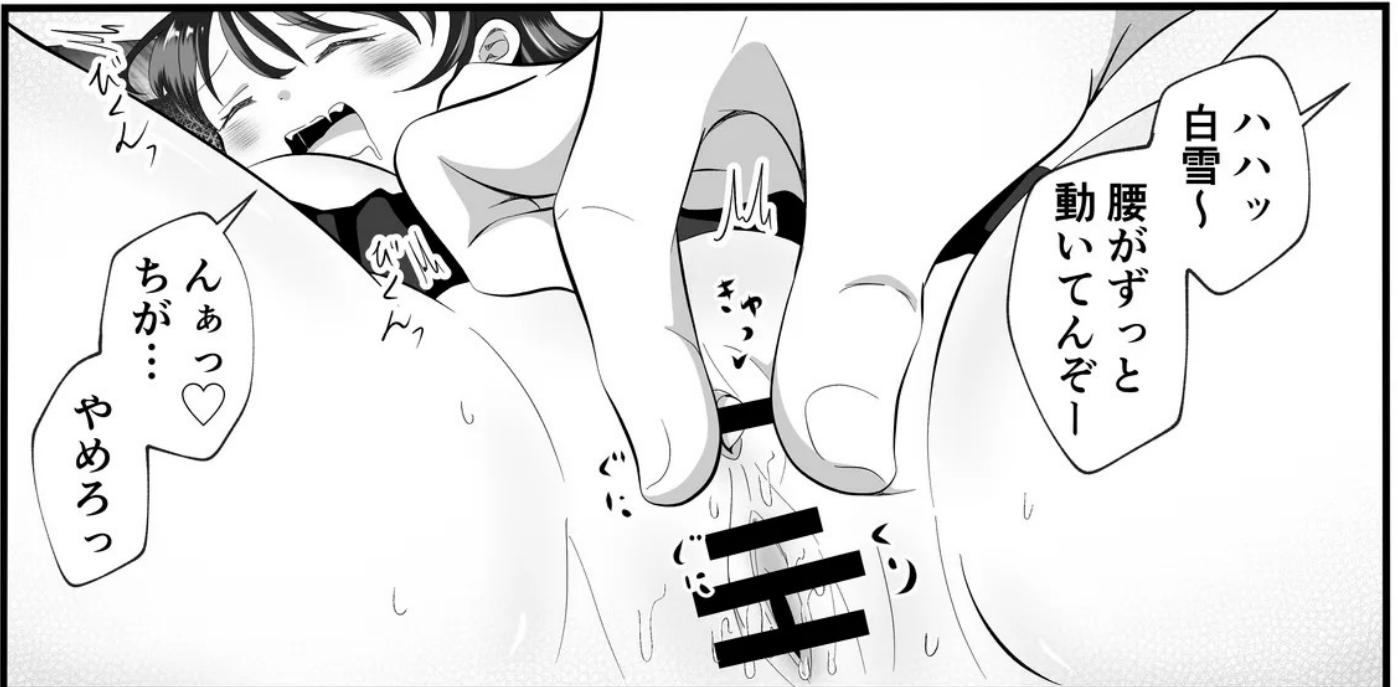
あっ
や...やめっ

おークリも
ビンビンじゃん



あっ...あうっ

お前ここ
コリコリされるの
好きだよなあ



んあっ♡
ちが...
やめろっ

ハハッ
白雪く
腰がずっと
動いてんぞー



いきたくない



嫌だいやだっ

男なんかで...

ふるっ

はまる

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ



しかし今日は
いつもより
敏感か？

もう手だけで
イっちゃったか？
相変わらず
だなあ白雪は



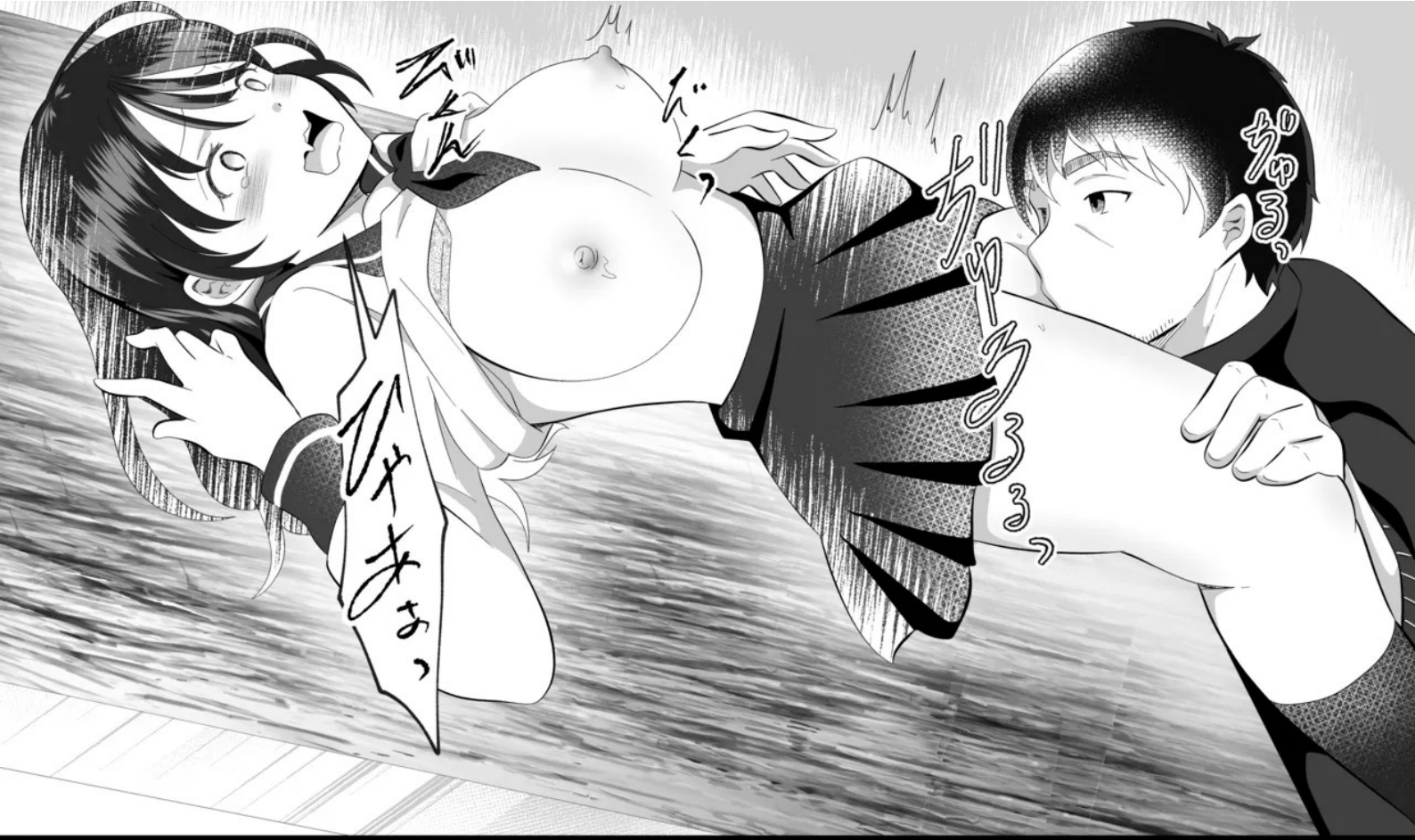
ちよっ

もうやめっ…



こんなにマン汁
垂らしまくって
…どれどれ

あっ





敏感なところばっか

あつ

あんっ

れえ



おー

溢れる
あひゅへる

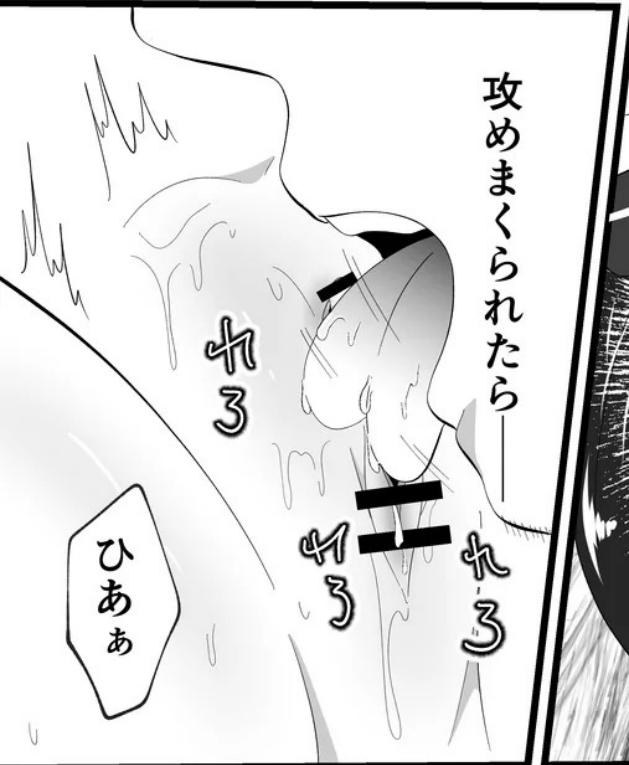
そ…そんな舌で

ちゅるっ

ちゅるっ

ちゅる

あうっ



攻めまくられたら

れ

れ

れ

ひああ



いつちやう…!

ど

ど

んんんん



ダメだ…俺っ

あつ

ああ

ど

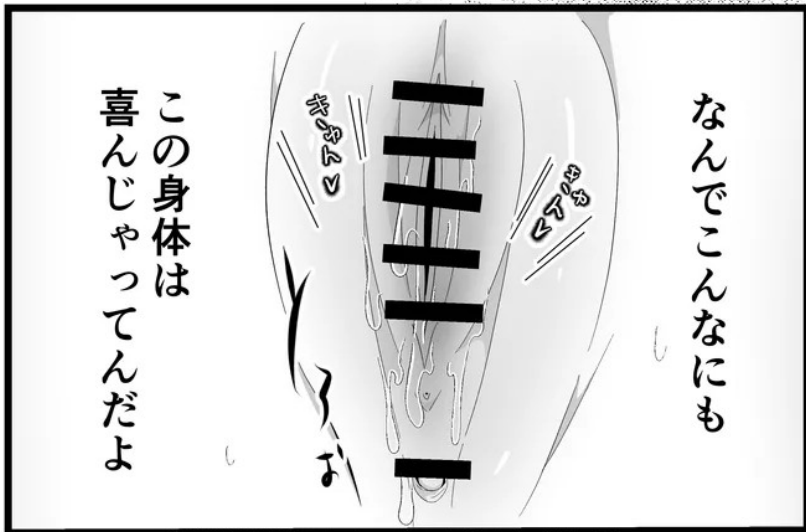
またこいつの手で…



そーとう
溜まっただ
のかあ？

おおー
潮吹きまで
するとは







やだ

あーやば

俺も一発
出しとこおかな

やだ

やだ

やだ

くほ

くほ

ぐほ

はん

ハッ…白雪
もつと深く
啜えて



あーいい

くそつ
くそつ…

いきそ

イク

くほ

くほ

ぐほ

ぐほ

嫌なはずなのに…

射精す

射精すぞつ

んま



もつとしゃぶりたの？

ひゃー
ろろろ

くん

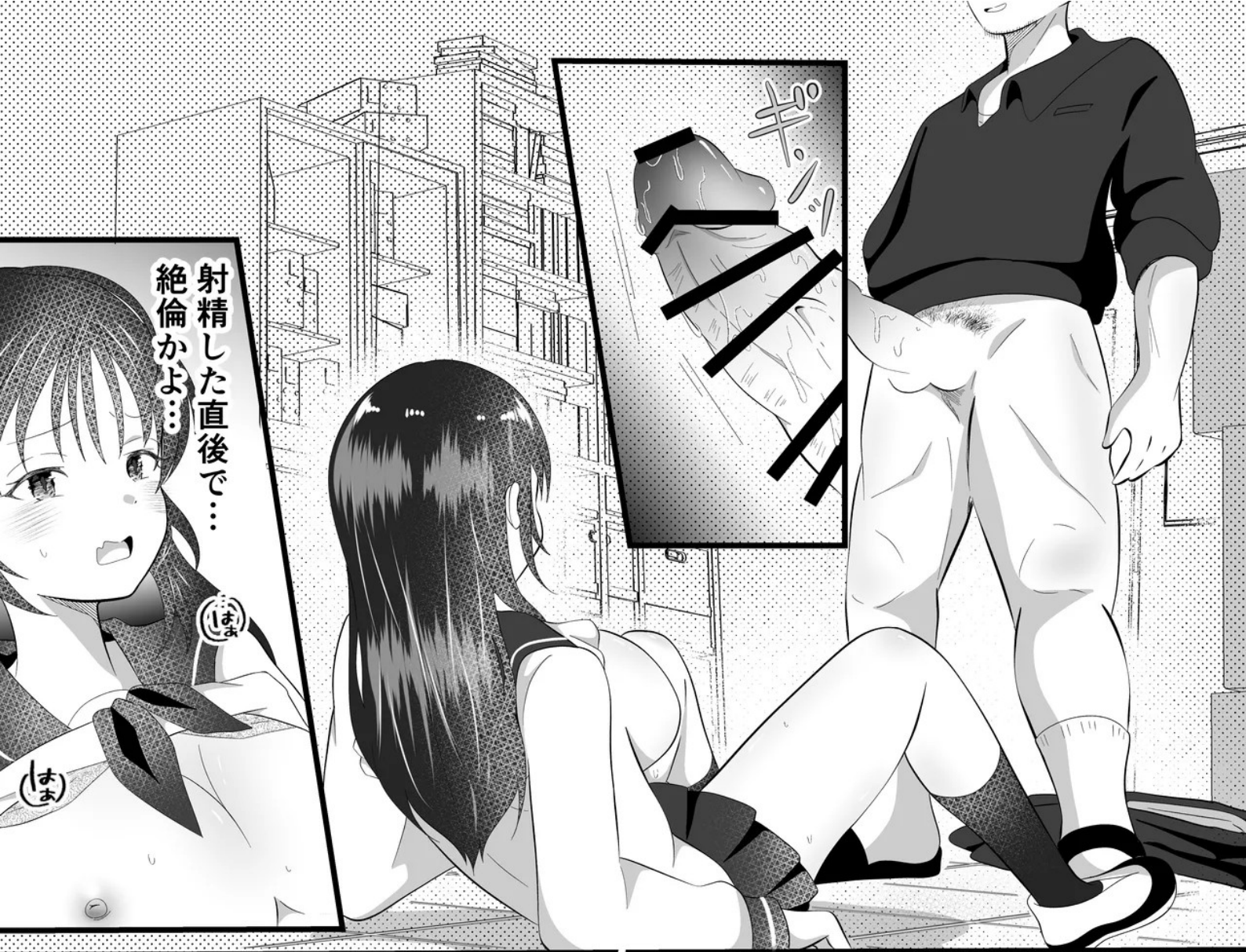


二発目
いきますか

よおしちゃんど
飲み干したな？

そんじゃ...

へっ



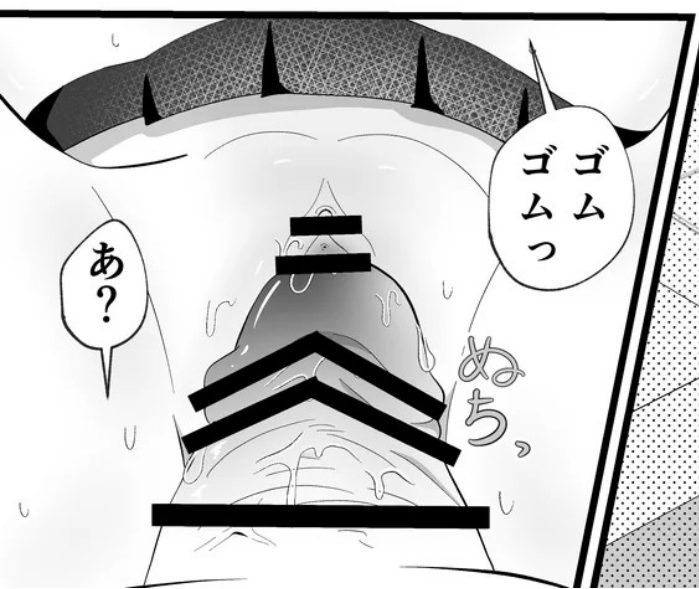
射精した直後で…
絶倫かよ…

はま

はま



え? ちよっ
先生…!?



あ?

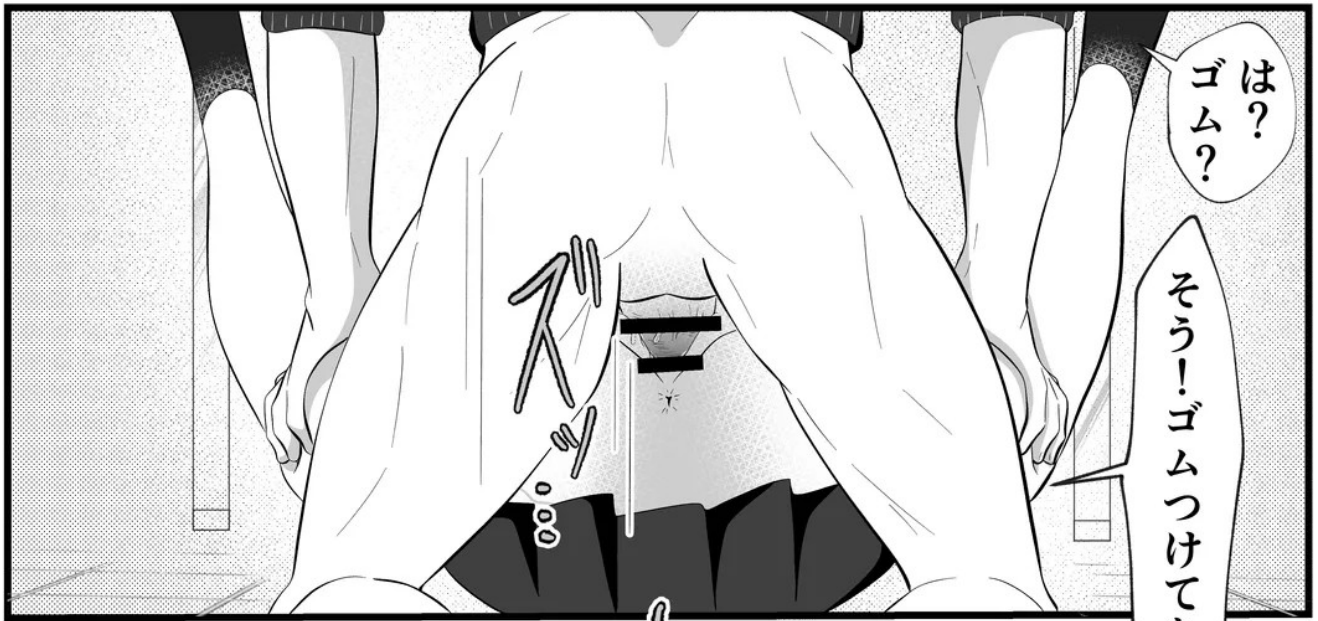
ゴムっ

めち



うっし
挿れっぞー

え



は？
ゴム？

そう！ゴムつけてな



なあーに
言ってるんだっ

あぁ



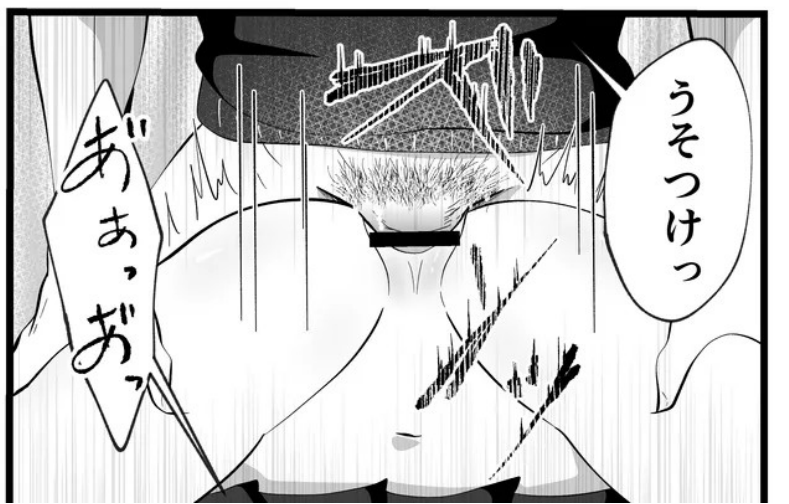
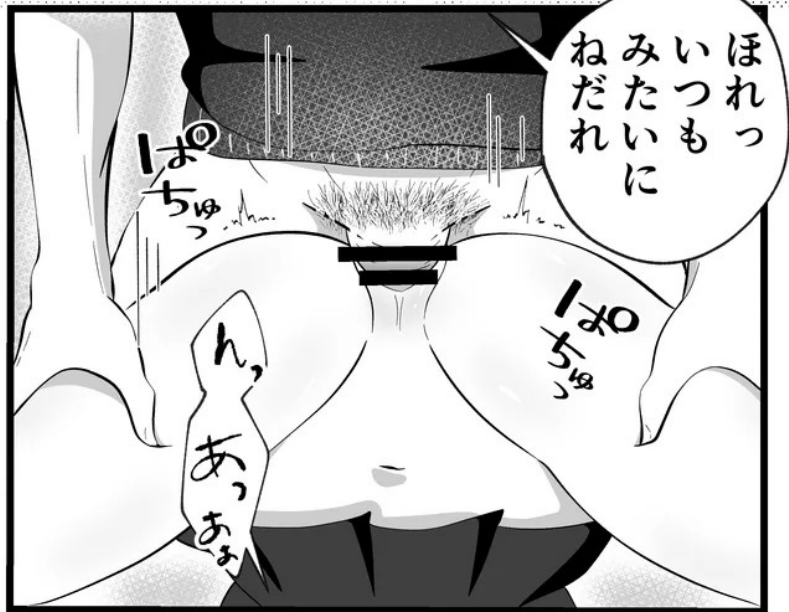
薬？？そんなの
この身体になってから
二度も飲んだことねえぞ

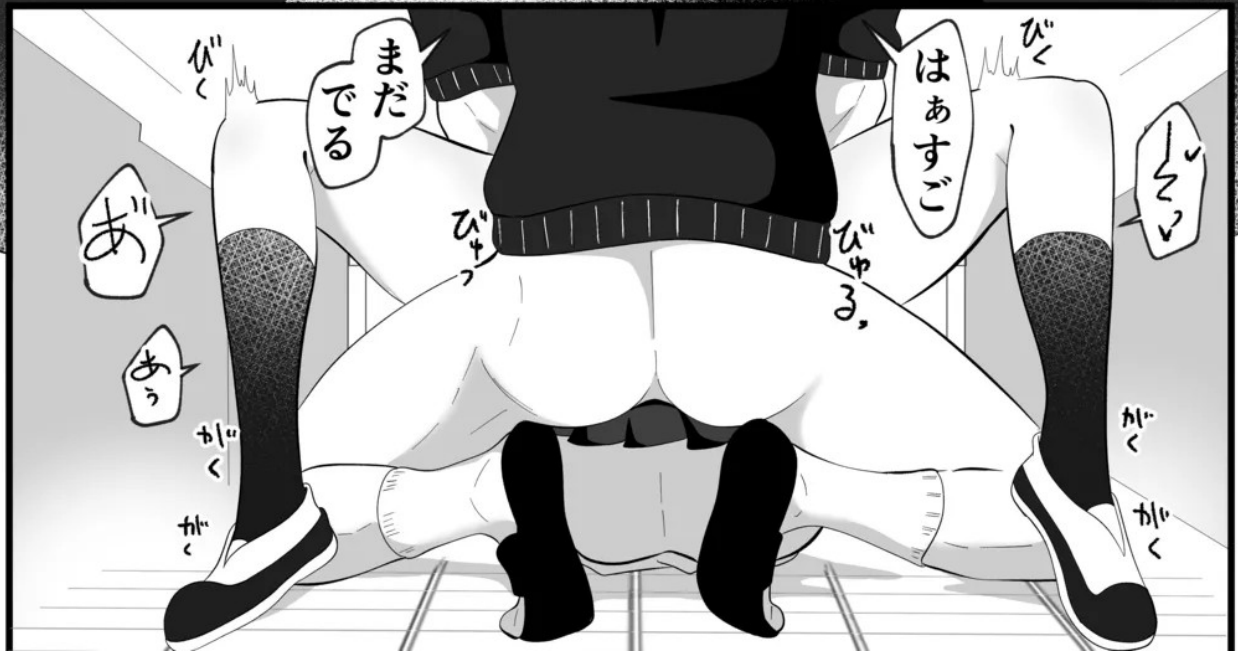


お前が生ちんぽを
所望してんだろうが

いつもゴムは
いらない
普段から薬飲んで
コン트롤
してるからって

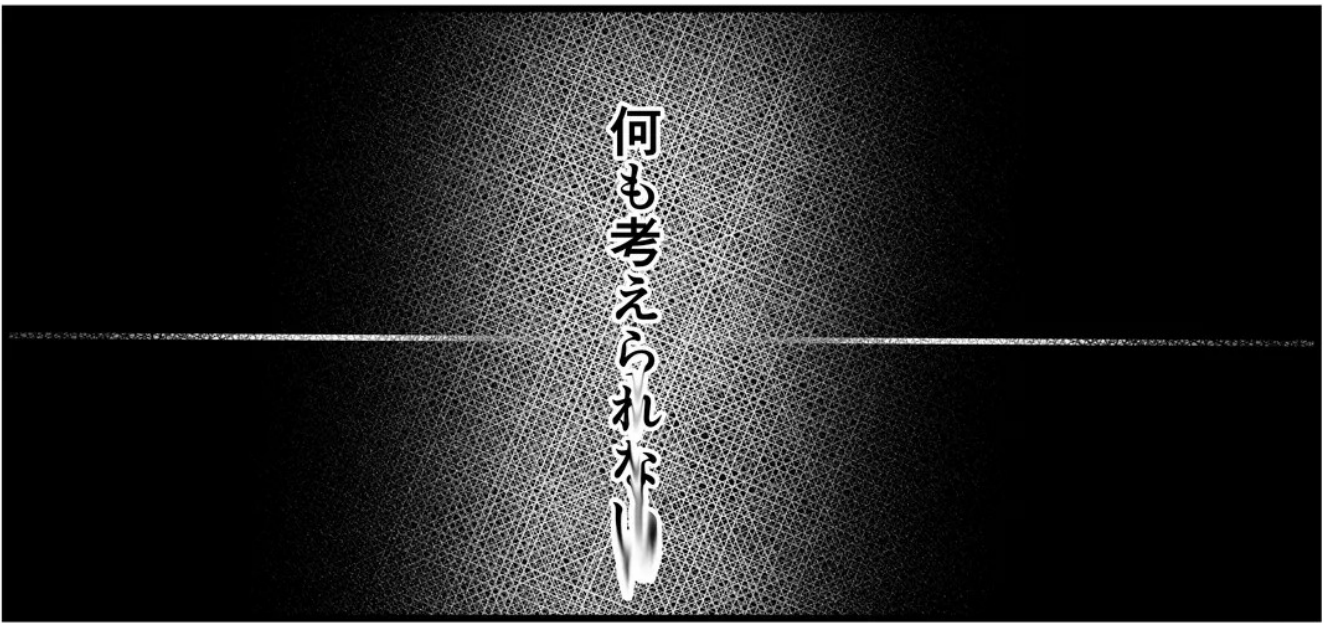
あ、
んあ



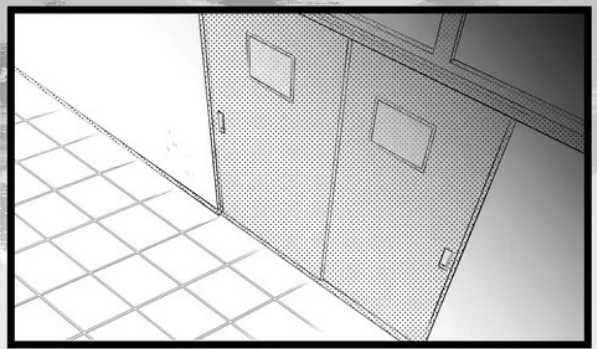
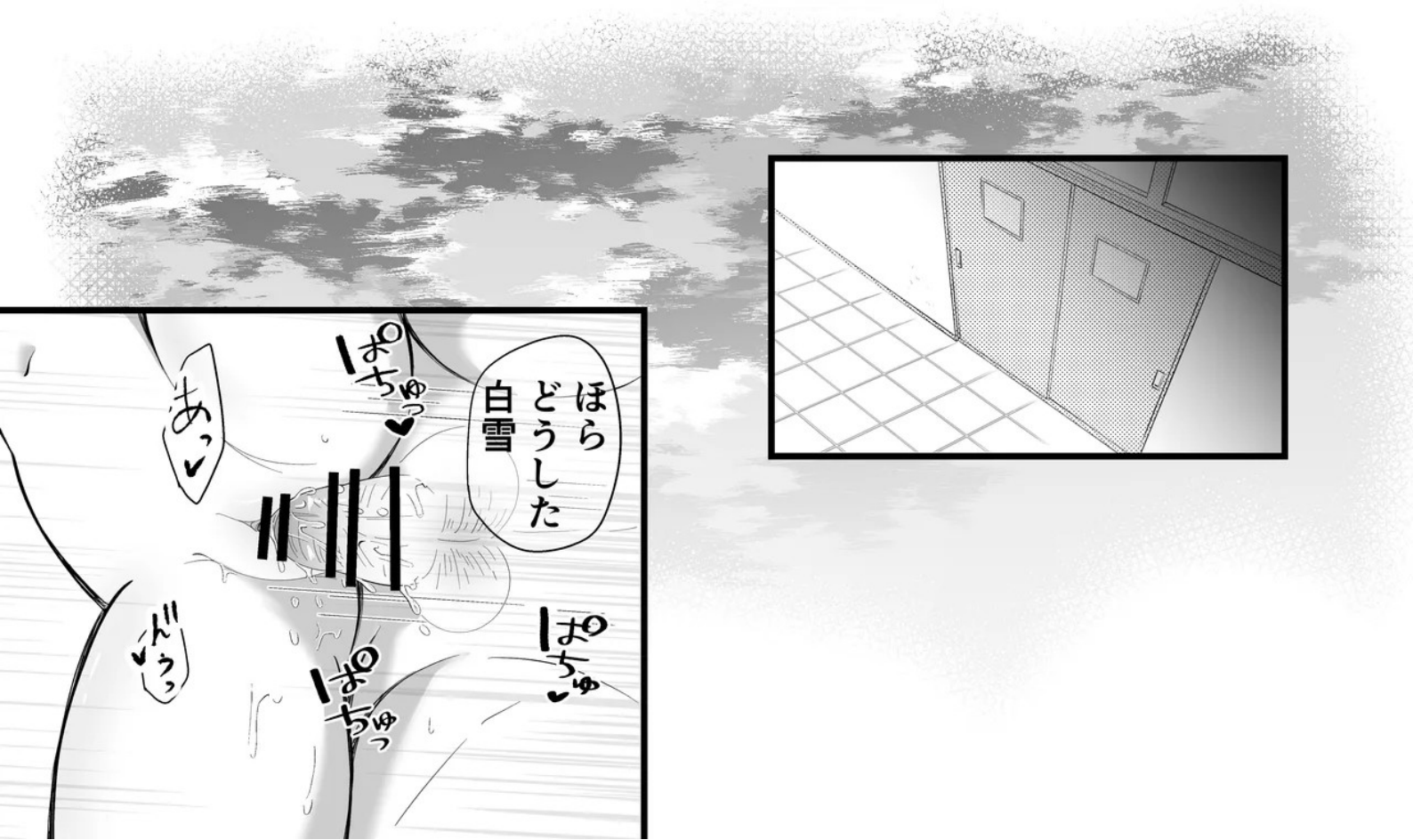




ああもうダメだ…
気持ち良すぎて



何も考えられず



ほら どうした
白雪

あゝ

んん

おち

おち

おち



クワッ
クワッ
クワッ
クワッ

クワッ
クワッ
クワッ

もっとな...もっとな...

もっとな深く

しゃぶ

もっとな欲しいっ

しゃぶ
!!

すげえなあ
ずっと
イキっぱなし

あ

ああ

さて

俺も最後にもう一発
出しとくかー

先生

先生っ

なか：
せーし
くらはい

おーおー
いつもの
白雪だな

はあ

はあ

はあ





お前の大好きな
生ちんぽだっ

ああっ♡うれしっ

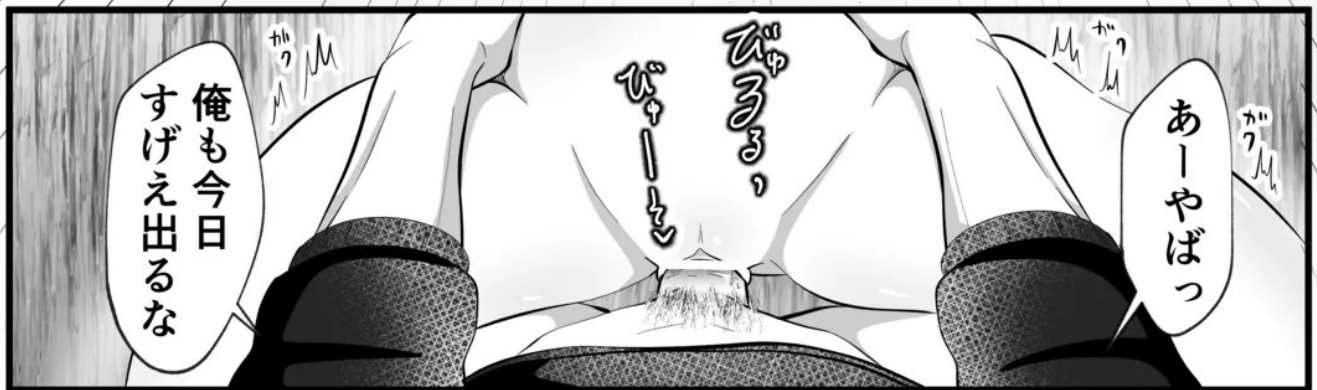
先生っ
せんせっ

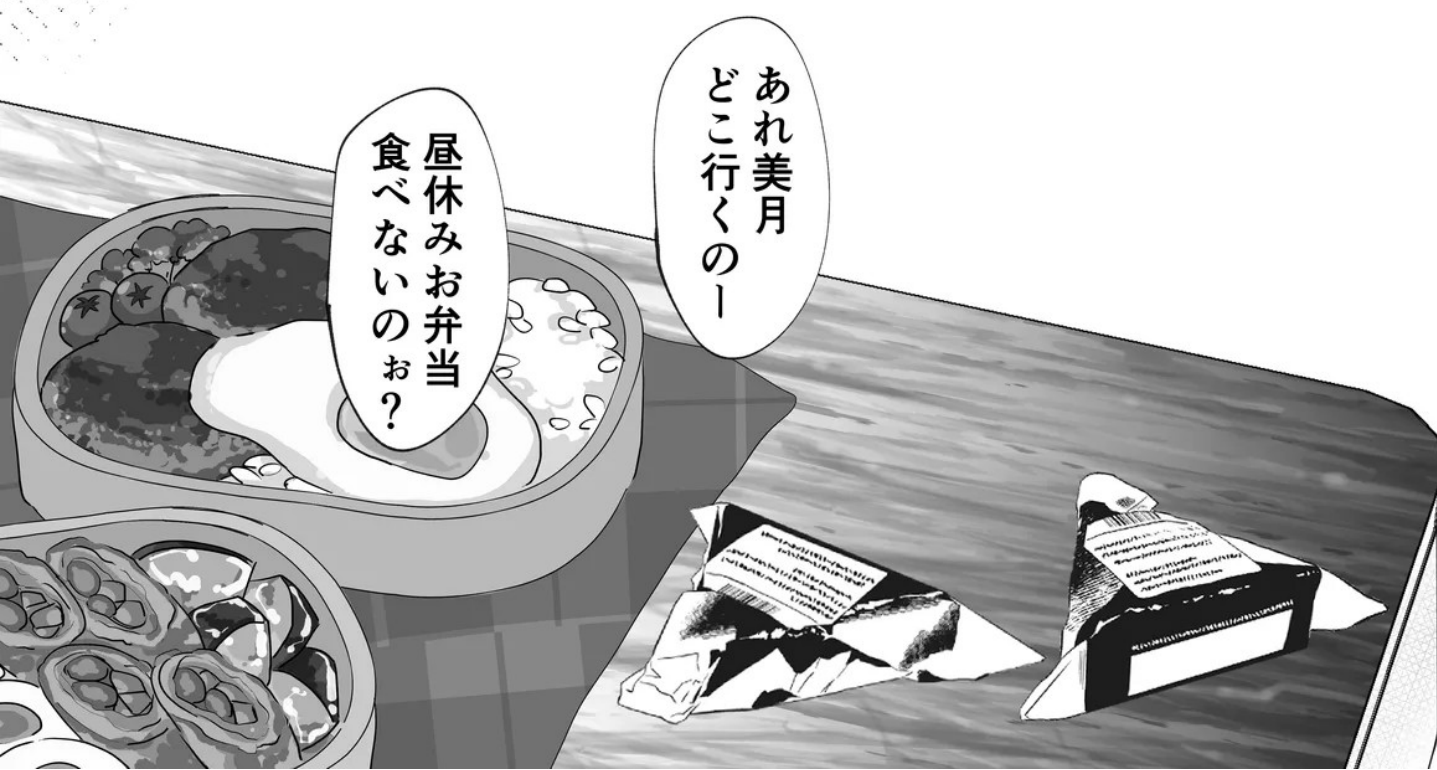
おら孕めっ
孕め白雪っ

あーっ
おーっ
あーっ
おーっ
あーっ
おーっ

ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ

おらイけ
いけっ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ







うん…ちよっと

先生に呼ばれて
るから…！

社会準備室